

「総合力」で 地域と共に歩む

三菱商事は、中期経営戦略2024において「未来創造(新産業創出／地域創生)」を掲げ、再生可能エネルギー（再エネ）などの地域エネルギー資源の活用、カーボンニュートラル新産業の創出、地域課題の解決を通じた魅力ある街づくりをテーマとして、パートナーや自治体と共に、社会・産業課題の解決に取り組んでいます。

本特集では、秋田県・千葉県沖の洋上風力発電事業プロジェクトについて紹介します。

世界的に気候変動対策が求められる中、日本でも再エネの主力電源化が喫緊の課題となっており、海に囲まれた国土の特性を活かして、国を挙げて洋上風力発電に取り組んでいます。

2021年末、三菱商事と、三菱商事エナジーソリューションズ(現：三菱商事洋上風力)、中部電力子会社のシーテックなどでつくる企業連合[※]は、秋田県沖と千葉県沖の3海域全てにおいて洋上風力発電を担う事業者を選定されました。事業者選定の決め手の一つとなったのが、「地域共生

策」。地元ニーズを具体的施策に落とし込み、入札時に複数の取組を開始していたことが評価されたと考えています。

本プロジェクトは、三菱商事が目指す2030年度までの再エネ発電事業の持分容量倍増・2050年GHG排出ネットゼロの達成に向けて欠かせないピースであり、三菱商事グループが欧州市場で10年以上にわたって洋上風力発電事業を担うことで蓄積したノウハウや強化してきた人材をフル活用して取り組んでいます。

[※]秋田県由利本荘市沖案件には、地元企業のウェンティ・ジャパンも参画しています。

地域共生なくして

この事業の成功はない

田中 俊一

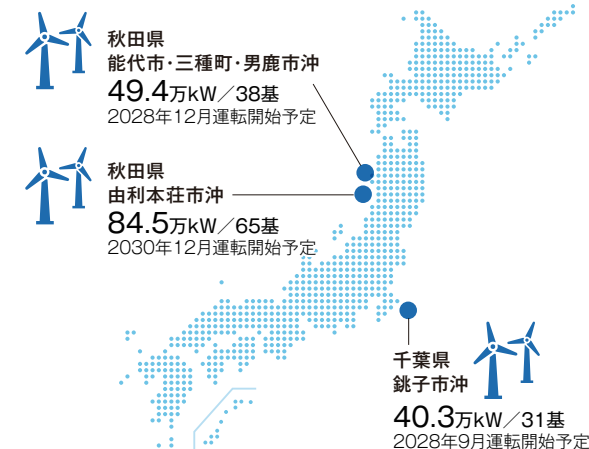
三菱商事洋上風力
社長



秋田県・千葉県沖の洋上風力発電事業は、再エネ海域利用法に基づき公募入札された一般海域における初めての着床式洋上風力発電事業であり、エネルギー自給率の低い日本にとっては、エネルギー政策上も重要な電源となります。まずは、この3海域の事業を確実に実行することに全力を尽くしています。

また、洋上風力発電事業は30年の長きにわたって、国・地域の皆様から大切な海をお借りして事業を営むものですので、発電事業による直接的な経済価値・環境価値の創出だけでなく、地域が抱える課題解決にも貢献して社会価値を創出することが責務であると考えています。関係漁業者・地元企業・自治体を

はじめとする地域の皆様と連携し、三菱商事グループの総合力を活かして、自立・自律的な地域共生策を実行することで、地域社会の基盤づくりに大きく寄与したいと考えています。



2022年11月、三菱商事は国内支店としては35年ぶりに秋田支店と銚子支店を開設。EXとDXの一体推進による地域創生における事業・サービスの開発拠点として、地域との協業をリードするとともに、秋田県・千葉県沖の洋上風力発電事業を推進する三菱商事洋上風力や同社傘下のプロジェクト会社を、三菱商事グループの「総合力」で側面支援しています。

今回は、本プロジェクトの成功に向けて秋田県と千葉県で全力を尽くす三菱商事洋上風力社員の奮闘ぶりを紹介します。



地域の方々との対話を 重ね、期待に応える



三菱商事洋上風力 渥美 諒
秋田県能代市・三種町・男鹿市沖案件の
地域共生を担当

秋田は農業・漁業が栄えていますが、人口流出による担い手の減少が深刻な課題となっています。若者の県外流出を解消するためには、洋上風力発電事業のサプライチェーンを構築することにより関連産業の振興と雇用を創出することが重要と考えています。また、秋田の地魚や日本酒などの秋田県産品の魅力についても発信していくべく、漁業協同組合、地元企業、自治体などと連携して、販路拡大に取り組んでいます。

加えて、国際教養大学にて世界や日本のエネルギー動向に関する寄附講座を実施。講義やディスカッションを通じて課題解決の思考

訓練を行うなど、秋田や日本の未来を担う人材育成支援にも取り組んでいます。

地元の方の話を聞く中で、地域の切実な課題や三菱商事グループへの大きな期待を実感していますので、引き続き、地元の課題解決に貢献すべく取り組んでいきたいと考えています。



国際教養大学で学生向けの寄附講義を実施



地元のためになる 取組を小さくても 積み重ねる

三菱商事洋上風力
黒田 かおり
千葉県銚子市の地域共生を担当



銚子の漁業者、市役所、商工会議所をはじめとする市内関係者の元へ足しげく通い、地域の課題に対して、三菱商事グループならではのソリューションが提案できないか、日々模索しています。

銚子名産のキャベツを使った餃子をローソンと連携して店頭販売し、販路を拡大できたことは、名産品の認知拡大に貢献できたと感じています。また、新規事業創造を目指す地域のリーダーを育成するビジネススクールを開催したところ、受講生の一人が、地域の野菜を使った農家レストランをオープンするなど、

人材育成の観点から地域産業の振興を目指す取組も実現してきています。

地域の皆様からの期待に応えるべく、手探りで取組を重ねていき、洋上風力発電事業を銚子の創生につなげていきたいと思っています。



畑で廃棄されてしまうキャベツを使い商品化

銚子における取組の詳細は[こちら](#)からご覧ください。

TEAM UP for a Sustainable World: 漁業の町・銚子で洋上風力発電事業がスタート

